



もとみや 議会だより

第72号

令和4年10月発行

市の取組を勉強中!
(本宮第一中学校)

令和3年度各会計決算審査 P.2~5
一般質問11名が登壇 P.12~18
本宮第一中学校生が議場を体験しました! P.19

本宮市議会 ホームページアドレス <http://www.city.motomiya.lg.jp/site/gikai/>
メールアドレス gikai@city.motomiya.lg.jp



2,975万円

このように使われました

※住民基本台帳人口30,040人

総務費	19億8,433万円 市民一人当たり 6万6,056円 定住促進や職員人件費に
教育費	19億1,851万円 市民一人当たり 6万3,865円 学校教育や教育施設整備に
公債費	11億1,406万円 市民一人当たり 3万7,086円 借金返済に
農林水産業費	9億1,623万円 市民一人当たり 3万500円 農林業の振興に
消防費	6億5,416万円 市民一人当たり 2万1,766円 消防・防災対策に
災害復旧費	6億2,839万円 市民一人当たり 2万918円 東日本台風災害や福島県沖地震の復旧に
商工費	4億5,935万円 市民一人当たり 1万5,291円 商工業・観光振興に
議会費	1億7,450万円 市民一人当たり 5,809円 議員報酬・議会運営に
諸支出金	1億円 市民一人当たり 3,329円
労働費	1,369万円 市民一人当たり 456円 雇用・勤労者支援に

民生費 49億8,931万円

市民一人当たり **16万6,089円**



子どもや障がい者、高齢者福祉に

土木費 34億8,869万円

市民一人当たり **11万6,134円**



道路や河川・本宮駅前整備に

衛生費 22億8,855万円

市民一人当たり **7万6,183円**



感染症対策や健康・環境衛生に

令和3年度 決算

一般会計 187億

市民一人当たり
約63万円！



▲昨年スタートした圏域路線バス

一般会計歳入内訳

市税	44億7,041万円
国庫支出金	36億6,261万円
地方交付税	35億2,514万円
市債	25億1,190万円
繰入金	16億7,765万円
県支出金	15億6,046万円
地方消費税交付金	7億8,961万円
繰越金	7億8,023万円
地方譲与税	1億8,550万円
使用料及び手数料	1億4,163万円
その他（分担金等）	9億3,645万円
総 額	202億4,159万円

各 会 計 決 算 額

会 計 名	歳 入	歳 出
一 般 会 計	202億4,159万円	187億2,975万円
国民健康保 険特別会計 (事業勘定)	27億1,817万円	26億2,322万円
(直営診療施設勘定)	1億3,212万円	1億1,776万円
後期高齢者医療特別会計	3億962万円	3億809万円
介護保険特別会計	29億3,987万円	27億2,530万円
工業用地造成事業特別会計	1億2,672万円	1億2,649万円
工業用地資産運用事業特別会計	1億1,462万円	1億1,462万円
水道事業 会 計	収益的収支 9億9,493万円	8億6,733万円
	資本的収支 1億1,826万円	8億531万円
公共下水道 事業会計	収益的収支 7億8,688万円	6億4,370万円
	資本的収支 4億7,547万円	7億1,885万円

決算審査質疑 ピックアップ

総務費

岩根出張所の成果について

問 岩根出張所の開庁日数が147日、交付件数164件である。利便性を図るという意味では重要だと思うが、週3回開庁でこの交付件数である。今後、マイナンバーもますます普及していく中で今回の成果はどのように捉えているのか。

答 前年度比10数件の減となっている。利用件数は少ない状況ではあるが、地元住民の利便性を考えると現時点では必要と考えている。現在、コンビニ交付が増えつつあり、今後、マイナンバーが普及すればさらに増えると考えている。そうなれば検討していく必要があると思う。

民生費

屋外遊び場の入場者数の計測は

問 スマイルキッズパーク屋内遊び場は入場者数が明記されているが屋外遊び場は計測していない。なぜ、屋外遊び場にカウンターを付けないのか。

答 過去に検討したことはあるが、複数の出入口があるため正確な人数を計測することが難しく、風雨の対策等の問題もあり、屋外遊び場については今後とも設置する予定はない。



決算審査意見

監査委員より次のとおり意見がありました

2021年度予算編成スローガン「心をひとつに、笑顔あふれる」元気なまちもとみや」のもと進められた事業は、令和元年東日本台風や相次ぐ地震等の災害復興及び新型コロナウイルス感染症対策事業が最優先に実施され、多くの繰越明許費等に係る事業を余儀なくされた年でもあった。事業執行に尽力された全職員に対して謝意を表すとともに、

一方、効率性や透明性をさらに高めるうえで、次の事項について改善、検討を求めました。

① 予算執行にあたっては、常に経費節減を念頭に、事業を計画的かつ効率的に執行することを心掛け、特に適切・適正な予算執行・事務処理及び進行管理に留意すること。

② 市税等の収納事務について、税・使用料等の徴収率が2年連続して前年比を上回るなど、顕著な成果が見られる。今後も「市民の公平性と財源の確保」を意識し、誠実な対応及び厳正な滞納処分を実施し、併せて不納欠損処理には慎重かつ適正な取り扱いをすること。

③ 市の特性や魅力・イベント等を効果的・積極的に情報発信すること、市内外へアピールし、更なる認知度向上に努めること。

④ 近年の災害や新型コロナウイルス感染症対策の対応業務が続いているため、職員の健康管理には十分配慮すること。

市長への総括質疑

職員の歴史認識が希薄では

問 監査委員の報告を尊重し、健全な財政運営や行政執行が行われたと判断する。これらを踏まえて、さらに飛躍を求めるものであるが、職員の本宮町・白沢村の歴史認識が希薄であるとの声が聞かれる。歴史を知ること、市民への行政サービスの向上につながるのではないかと、という声がある。先人の苦勞等も含め、一度立ち止まって振り返ることも大切と思うが所見を伺う。

答 市を預かる者として、このご指摘は真摯に受け止めなくてはならないと思っている。近年、役所の職員として受験をする方々で市外からの方が大変多い。本宮に住んでもらうようお願いはしているが、本宮市民とはいえ、全く知らない所から来て、本宮市民のために働いている職員が多い。本宮市は全て新しいものを求めているわけではなく、本宮市の歴史、生い立ちをしっかりと考えた中で次のステップをどうするかと考えるためには、本宮の歴史を知らなければ新しい一歩は踏み込めないだろうと考えている。さらなる発展のために研修等々取り入れていく。

総合計画施策評価の現状は

問 第二次総合計画の施策評価について、五か年計画の総合計画前期基本計画で3年目が経過した。令和3年度決算額を踏まえた計画の進捗状況について市長の考えを伺う。

また、令和3年度決算額における不要額は19億2075万円が発生した。率にして8・12%であり低い数字ではない。不要額が生じた背景には様々な要因があると思うが市長の不要額についての考えを伺う。

答 計画策定時新型コロナウイルスのパンデミックは予測できなかった。コロナでできなかった事業を評価に入れるべきなのかということで、昨年は評価無しとした。また、すべての事業が計画策定初年度にスタートしているわけではない。今後も後期計画を進めていく中で、適正な評価をいただけるよう分かりやすい評価を進めていく。

不要額Ⅱ入札受け差だと簡単に考えていた。入札受け差が大きい割合を占めているのは間違いないが、当初予定していた事業ができなかった、予定していた予算よりも少なく済んだというのは市民サービスの充実ということからすると好ましくない。入札受け差以外の部分ではできるだけ少なくなくてはいけないと思っている。

地方債比率増加どのように考えているのか

問 平成29年度から令和3年度までの決算を地方債残高比率というもので測ってみると、平成29年度は180%で借金が市民一人当たり49万円だったが、令和3年度決算では214%と3年間で34%、41億7900万円増加した。要因としては3年間で借金を約45億6000万円増加し、補正予算を多発し、財政規模を大きく膨らませたことがこの結果と考えている。令和4年度の財政規模をどのように考えているのか伺う。

答 地方債残高は令和元年から増え続けている。これには災害対応であったり、その復旧があったり、目指している事業に着手するための市の持ち分を地方債で補ったりなど様々な要因がある。一つ一つの事業について償還計画をある程度考えながら事業に取り組んでいるため今のところ大きな心配はしていない。今の状況で実質公債費比率が一時的に上がっているかもしれないが、これも長期的に見れば下がってくる。低くするつもりなら何もしなければよい。そのバランスをどのように取りながら、市民の方の要望を形に変え、財政の健全化を担保して市民サービスを行っていくのか十分に注意して市債の発行をしていきたいと思っている。

今後の地域づくりは

問 令和2年1月からコロナが日本に上陸し、現在も収まっておらず令和3年度についても事業が中止となり市勢の振興・発展に大きく影響を及ぼしてきたのではないかと。事業によっては市民の生活にあまり支障のないものや大きな影響を与えたものもある。特に思うのが、隣近所、町内会の事業が中止になり付き合いが希薄になってきたことである。これに対し、市長はどのような形で地域づくりをやっていく必要があると考えているのか伺う。

答 2年間いろいろな形でコロナの影響を受けてきた。その中で地域コミュニティに崩壊の兆しが見えてきたというのは非常に恐ろしいことであり、しっかりと止めていかなくてはならない。そのような中で、市はウイズコロナに舵を切った。コロナはしばらくはなくなりならないということで、コロナと一緒に生活をしていかなければならないという中で、コロナであれば普通の暮らしができるか検証していかなくてはならない。人間やらない方が楽である。それが続くやらない方がよいが、大切に守っていかなくてはならないものがある。今後、ゼロコロナではなく、ウイズコロナということを市民の皆様を確認してもらい、一緒に地域づくり、まちづくりをしていきたい。

各会計決算認定など 27議案を可決

定 9 月 例 会

9月定例会（第5回本宮市議会定例会）は、諮問1件、条例の制定や各会計補正予算など27議案と報告2件が提出され、採決を行った結果、すべての議案を原案どおり可決しました。

今議会には、令和3年度の各会計の決算認定が上程され、決算審査特別委員会を設置し、3日間にわたって集中審査を行いました。詳細は2ページから5ページに掲載されています。

表彰

市の振興発展に貢献し、その顕著な功績が認められた方を功労者として表彰することに同意しました。

自治功労表彰

國分 政利氏（荒井字堂川）
農業委員会委員（18年2か月）

特別功労表彰

國分 敏行氏（本宮字館町）
学校歯科医（30年）

西山 和彦氏（本宮字南町裡）
学校歯科医（21年）

遠藤 英樹氏（青田字笠松山）
スポーツ推進委員（13年）

満山 喜郎氏（英国ロンドン市）
ロンドンしゃくなげ会会長

ジャパン祭り理事
ワールド福島県人会会長
英国日本人会理事
もとみや国際交流親善大使

人事

今定例会では、市長から人権擁護委員の推薦について諮問があり、人権擁護委員法に基づき、次の方を法務大臣に推薦することに全会一致で同意しました。

人権擁護委員（再任）

石澤貴代子氏（本宮字上町）

人権擁護委員とは、人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり、人権の考えを広める活動をしている方々のことです。

市長が議会に諮問し、議会の同意を得て法務大臣へ推薦します。

一般会計補正予算（第5号） 13億1,387万円を増額

令和4年度

《一般会計補正予算（第5号）の主な内訳》

歳出

災害廃棄物処理業務委託料……2億4,451万円
みずいろ公園イベント広場整備工事等工事…1億3,705万円
道路維持補修及び修繕工事……………1億370万円

歳入

前年度繰越金……………4億2,172万円
教育施設等整備事業基金繰入金…2億2,637万円
公園整備等改修事業債……………1億2,630万円



燃料価格高騰の影響を受ける市内運送業者への応援金の概要

バス・タクシー代行随伴車両
対象車両1台につき1万円
事業用貨物自動車
登録車両1台につき2万円
事業用貨物軽自動車
登録車両1台につき1万円
申請期限 令和5年1月31日

今議会に提出された令和4年度一般会計補正予算（第5号）の歳出の主なものは、本年3月の地震で被災された家屋等の公費解体及び廃棄物処理を行うための委託料、同地震で被害を受けたえびか並びに白沢公民館白岩分館の災害復旧事業費、しらすわ夢図書館の機能拡充に要する工事請負費等、原油価格高騰により影響を受けている運送業者に対する、燃料高騰対策運送事業者応援金などが計上されました。

災害廃棄物処理業務委託料等を計上

一般会計補正予算（第5号）

問 まゆみ放課後児童クラブ設置工事の概要は、現第2児童館の移設なのか。

答 本宮まゆみ小学校のコンピューター室を改修し放課後児童クラブとして使用するための工事であり、第2児童館の放課後児童クラブを4月からまゆみ小学校で行う準備の工事である。

まゆみ放課後児童クラブ 設置工事の概要は

議案質疑

令和4年度一般会計補正予算（第6号）の主なものは、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種体制の経費、プレミアム商品券発行第2弾にかかる経費、本年8月の大雨の被害を受けた市道等の災害復旧事業費などが計上されました。

プレミアム商品券第2弾経費等を計上

一般会計補正予算（追加議案）

総務文教常任委員会



▲委員会での審査の様子

総務文教常任委員会には、令和4年度本宮市一般会計補正予算（第5号）のほか、議案3件が付託されました。主な審査内容は次のとおりです。

一般会計補正予算 （第5号）

説明 寄附いただいた下町地内の土地を有効活用するため、駐車場整備にかかる工事請負費を補正する。

問 下町地区駐車場整備工事について、本件のような土地の寄附があった場合、全て受納するのか。

答 今回の駐車場については、広く多くの方に利用していただきたいと考えている。その中で、土地の寄附については、場所や形状を勘案しながら、

活用できるかを検討し、受納について判断する。

説明 昨年12月からふるさと納税返礼品にアサヒスーパードライを追加し、寄附額が伸びている。そのため当初予算の見込みを上回ったため、返礼品贈呈にかかる費用を補正する。

問 ふるさと納税返礼品を大企業だけでなく市の農産品を活用する考えは。

答 返礼品の中でアサヒビールが一番注目されているが、ふるさと納税のポータルサイト『さとふる』において、市の米や柿、りんごなどの農産品も掲載している。アサヒビールが注目されることにより、その他の返礼品も目に付く機会が多くなるため、今後市内の産品の追加及びPRを行いながら、相乗効果をもたらしたい。

生活福祉常任委員会



▲委員会での審査の様子

生活福祉常任委員会には、本宮市消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例制定のほか、議案4件が付託されました。主な審査内容は次のとおりです。

本宮市消防団設置等 に関する条例の一部 を改正する条例制定

説明 消防団員の定員数を541人から488人に変更する。

問 消防団員の定数削減に伴う災害時の出動に対する影響は。

答 今回の見直しについては、定数の不足相当数を削減するもので、消防団とも協議を重ねながら進めてきており、火災等の災害時の対応に影響を及ぼすことはない。

一般会計補正予算 （第5号）

説明 地域公共交通活性化協議会負担金増額や産後ケア事業委託料増額の補正を行う。

問 地域公共交通活性化協議会負担金の増額の詳細は。

答 地域公共交通の再編に伴い、新サービスとして、定額タクシー「まちタク」の実証運行が開始されたが、試験的な運用の位置づけであるため、市ではなく、地域公共交通活性化協議会が実施する事業としている。10月以降も実証運行を継続しながら、利用者などからの意見の集約と検討を重ね、公共交通全体をより良いサービスとして構築するため、協議会負担金として計上した。

産業建設常任委員会



▲平田石浄水場送水ポンプ電動弁更新工事箇所

産業建設常任委員会には、令和4年度本宮市一般会計補正予算（第5号）のほか、議案5件が付託されました。主な審査内容は次のとおりです。

一般会計補正予算（第5号）

説明 恵向公園管理棟建築工事にかかる経費を補正する。

問 管理棟の運営方法と遊具の安全対策は。

答 パークゴルフ場の管理棟と同様に、いつでも誰でも使えるように管理人を配置予定である。遊具については、日本公園施設業協会の安全基準をクリアした物を設置し、高さのある遊具はゴムチップ舗装とする。年1回の法定点検を実施し、

利用者の安全を確保していく。

問 恵向公園の防犯カメラの設置場所は。

答 駐車場や子ども達が遊ぶ遊具、トイレ周辺への設置を予定している。

説明 燃料高騰対策運送事業者応援金にかかる経費を補正する。

問 算出金額の根拠は。

答 福島県トラック協会や陸運支局に台数を確認し、平均走行距離や燃料高騰分などを総合的に勘案して算出した。

現地調査

平田石浄水場送水ポンプ電動弁更新工事箇所及び、本宮インター付近道路の測量設計業務委託箇所を現地調査した。

五百川駅整備検討特別委員会

福島県と福島県議会へ要望書を提出

10月7日開催の第5回委員会において、福島県と福島県議会へ「県道大橋・五百川停車場線の改良整備について」の要望書を提出しました。

委員会では、五百川駅の安全性・利便性について調査研究を進めてきましたが、混雑時の安全対策と更なる利便性の向上のためには、五百川駅駐停車場整備事業と併せ、県道の早急な整備が望まれるとの結論となり、令和5年度県予算へ反映させるべく要望活動を行ったものです。

議長から「本線の駅入り口部分から、集落内の狭隘部分を解消及び歩道整備が併せて実施されることが、事業効果として最大化される」と説明し、支援をお願いしました。

委員会の開催状況

- 第2回（7月29日）
 - ・五百川駅の歴史について
 - ・五百川駅前広場整備計画策定までの経過について
- 第3回（8月19日）
 - ・五百川駅駐停車場整備事業地元説明会の結果について
 - ・現地視察（五百川駅）
 - ・課題の検証（緊急対応策である短期的な対応）について討論
- 第4回（9月16日）
 - ・利用者のニーズの把握について
 - ・課題の検証（中長期的な対応）について討論
 - ①五百川駅前広場整備計画推進について
 - ②県道大橋・五百川停車場線の整備促進について
 - ・課題の整理（要望活動について）
- 第5回（10月7日）
 - ・要望活動

本会議での討論

9月16日の本会議で、議案第89号について討論がありました。主な内容は次のとおりです。

議案第89号 令和4年度本宮市一般会計補正予算（第5号）

反対討論

今回の補正予算は13億1386万円の補正増の予算である。必要な補正は是とするものだが、総務費の広報広聴費の贈呈品補正増1860万円について、これはふるさと納税返礼品費用だが、昨年12月にスタートしたアサヒスーパードライが人気でそのための補正である。納税という言葉がついているふるさと納税だが実際には自治体に対する寄附金である。生まれ育ったふるさとに貢献できる制度、自分の意志で応援したい自治体を選べる制度である。ふるさとの思い出はお祭りであったり、農家の稲刈りであったり、おいしい食べ物やお菓子などみんなが頑張っているところを応援したいという気持ちでさとふるに応募すると思う。返礼品はその時のふるさとの実情だと思っている。昨年12月からスーパードライの返礼品がスタートし、人気で寄附が多くなり今回の補正となったが、寄附金が集まるなら集まるものだけ返礼するというのは疑問である。ビールの希望が多く、他の品目が少なくなっているのは困る。そのことが心配である。寄附の項目の第一に英国庭園の応援がある。市民は英国庭園の整備についてはあまり期待はないようだが、寄附者が求めれば無視するわけにはいかないと思うが私も庭園整備はあまり期待していない。いずれにせよ、この制度を利用しながら市民の立場、気持ちに沿った行政、本宮市の活性化に繋がるよう求める。

渡辺忠夫 議員

賛成討論

本議案のうち、総務文教常任委員会に付託された案件の中で、「ふるさと納税返礼品の補正増」については、委員会の審査において説明があったとおり、アサヒビールを市内事業者で取り扱いができるようにするため、昨年12月から返礼品に追加されたが、この影響により、寄附件数及び金額の実績が着実に伸びているため、今後継続して実施すべき事業であると考えられる。

石橋今朝夫 議員

寄附者の方は、様々な返礼品の中から自由に選択し、多くがアサヒビールを選択している現状だが、アサヒビールへ多くの注目が集まることは、ふるさと納税の目的の一つである財源確保に資するだけでなく、ポータルサイト内に掲載している市の米や柿、りんごといった農産品などを目にする機会が増えることにより、多くの方に本市の魅力ある産品を知ってもらえる相乗効果が期待できるため、補正増を認めるべきと考え、本議案に賛成するものである。

9月定例会賛否一覽

これら以外の議案等は11ページのとおり全会一致で可決されています。

会派名	みらい創和会				新風会			志誠会		共	無所属									
議員名	山谷 長作	石橋今朝夫	磯松 俊彦	渡辺由紀雄	斎藤 雅彦	川名 順子	根本 利信	三瓶 裕司	橋本 善壽	菊田 広嗣	渡辺 忠夫	遠藤 初実	馬場 亨守	三瓶 幹夫	菅野 健治	渡辺 秀雄	渡辺 善元	伊藤 隆一	作田 博	国分 勝広
議案番号								-			●									
議案第89号	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（三瓶裕司）は採決には加わらない
※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

議決結果一覽表

議案番号	議 案 名	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同 意
議案第70号	自治功労表彰について	同 意
議案第71号	特別功労表彰について	同 意
議案第72号	特別功労表彰について	同 意
議案第73号	特別功労表彰について	同 意
議案第74号	特別功労表彰について	同 意
議案第75号	専決処分の承認を求めることについて (専決第7号 本宮市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例制定について)	承 認
議案第76号	本宮市議会議員及び本宮市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第77号	本宮市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第78号	国道4号沿道北部地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第79号	本宮市消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第80号	市道路線の認定について	原案可決確定
議案第81号	令和3年度本宮市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第82号	令和3年度本宮市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第83号	令和3年度本宮市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第84号	令和3年度本宮市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第85号	令和3年度本宮市工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第86号	令和3年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第87号	令和3年度本宮市水道事業会計決算認定について	認 定
議案第88号	令和3年度本宮市公共下水道事業会計決算認定について	認 定
議案第89号	令和4年度本宮市一般会計補正予算(第5号)	原案可決確定
議案第90号	令和4年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決確定
議案第91号	令和4年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決確定
議案第92号	令和4年度本宮市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決確定
議案第93号	令和4年度本宮市工業用地造成事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決確定
議案第94号	令和4年度本宮市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決確定
議案第95号	令和4年度本宮市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決確定
議案第96号	令和4年度本宮市一般会計補正予算(第6号)	原案可決確定
報告第11号	令和3年度本宮市継続費精算報告書について	
報告第12号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく令和3年度健全化判断比率及び資金不足比率について	
	閉会中継続調査申出書(各常任委員会)	決 定

一般質問

市政を問う

9月定例会の一般質問は、11名の議員が登壇し、3日間にわたって行われました。

1 議員2題、内容を要約してお伝えします。

13ページ：

■橋本善壽 議員（志誠会）

- ・農業資材高騰に向けた市の補助は
- ・防犯灯の無い通学路に取付けは
- 磯松俊彦 議員（みらい創和会）
- ・市民の生活福祉について
- ・観光政策と市民生活について

14ページ：

■国分勝広 議員（無所属）

- ・少子化への経済援助は
- ・保育所継続入所の改善策を
- 馬場亨守 議員（無所属）
- ・公共交通について
- ・市職員退職後の再就職について

15ページ：

■根本利信 議員（新風会）

- ・岩根矢沢地区の土砂災害対策は
- ・通学路危険箇所改善状況は
- 菅野健治 議員（無所属）
- ・8月3日豪雨災害について
- ・本宮市消防団について

16ページ：

■遠藤初実 議員（無所属）

- ・高齢者の呼び方について
- ・孝期と表記するなど個性を出しては
- 川名順子 議員（新風会）
- ・早期の弱視予防をすべき
- ・市立幼稚園の給食化を

17ページ：

■石橋今朝夫 議員（みらい創和会）

- ・授業の質を高めることが重要では
- ・犯罪被害者支援条例制定の考えは
- 渡辺忠夫 議員（日本共産党）
- ・コロナ対策について
- ・生理用品の無償提供について

18ページ：

■渡辺善元 議員（無所属）

- ・農業の振興策について
- ・生活困窮者に対する支援について



▲観光政策に工夫を

問 賃貸住宅に住居される年金生活者に家賃負担の問題があると言われているが、空き家を安い賃料で活用するような取り組みは。

答 市民の皆さんに向き合う民生委員の方が報告する状況を詳細に分析し、政策立案に活かすことが期待されるのでは。



問 市民の生活福祉について

答 様々なケースを政策に活かしたい

磯松 俊彦
議員
(みらい創和会)

問 市では安い賃料で活用する取組は現在行っていない。空き家に対する支援はどのようなものがあるか今後検討したい。

答 お受けした相談内容を既存の住民サービスに繋いでいる。様々なケースが今後出てきた場合政策立案に活かしたい。

問 昨年まで本宮駅ホームにあった岩角山広告塔と池はいつ頃整備されたものか。岩角寺からは撤去するかわり観光案内板を設置する話と聞いている。電光掲示板の改善は。

答 整備時期を調査したが不明だった。自由通路と駅の整備を計画するとき電光掲示板で一元化してPRを図ろうという経過があった。皆様に見やすい表示を考えていきたい。祭り会場以外の観光場所を指定することは考えていない。

その他の質問

・高木の観光開発を見据えた駐車場の整備は



問 農業資材高騰に向けた市の補助は

答 フットワークよく次の行動に移る

橋本 善壽
議員
(志誠会)

問 国際情勢や円安により農業生産資材が上がる一方で、コメの値段だけが思うように上がらない。このような状態が続くと来年の耕作に影響が出てくる。農業生産資材の高騰が続いた場合、市として何らかの対策が必要ではないか。

答 農業生産物全製品についての補助、県・国がどういった形の中で支援が出てくるか見極めながら、一番フットワークよく早く農家の方々に届けるのは市が動くことである。その状況をもう少し見て農家の皆様の意見を聞き、次の行動に移っていく。

問 防犯灯の無い通学路に取付けは

答 東北電力に強く要望

問 仁井田字四合田地内、小・中学校の通学路になつていて市道に防犯灯がついていない。父兄より、日が短くなってからの帰り道が暗く心配、以前より防犯協会からも要望しているが、電柱が無いため無理など市内に幾つもあるので対策は。

答 当該区間は防犯灯が一つもなく暗くて非常に不安な場所が必要な場所と認識している。しかしながら、この区間には電柱が1本も無く電源が確保できず防犯灯設置が非常に困難である。改めて東北電力へ新たな電柱設置を強く要望する。

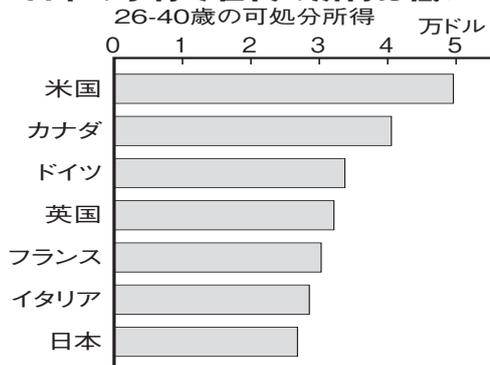
その他の質問

- ・今後の色彩選別機導入に対しての進め方は
- ・堤防の刈草、飼料や家畜の敷き藁等への活用は



▲農業資材高騰への補助を

日本の子育て世代の所得は低い



(注) 購買力平価換算、OECD資料より作成

▲子育て世代への補助充実を



問 少子化への経済援助は

答 検討していく必要は考えている

問 2021年の子どもの出生数は約81万人で、2022年の出生数はこのままいくと年間77万人となる。今後、保育使用料、給食費等補助を考えたていかなければならないのではないか。

答 児童手当等の経済支援と言われる現金給付や、保育や育児休業、出産支援などの現物給付といったものの両方の拡充は、今後、検討をしていく必要があるのか、考えていきたい。

問 保育所継続入所の改善策を

答 新年度へ向けて検討したい

問 育児休業中の第1子の保育所入所の継続については過去にも質問している。親戚等が近くにいる場合は良いが、いない場合は容易でない。改善を図るべきでは。

答 育児休業取得後の継続入所については、保護者からも一定の要望があるということも認識している。今後本市においてもこのような制度が可能かどうか、子育て環境向上のために新年度に向けて検討をしていきたいと考えている。

国分 勝広
議員
(無所属)



問 公共交通について

答 地域交通活性化協議会で対応

問 市街地巡回バスについて、補助金の金額、利用者の総数と一人当たりの経費はいくらか。

答 令和3年度の補助金は763万円で、運行経費から運賃収入を差し引いた額を補助しており、利用者は1万5945人。一人当たり経費にすると479円となる。今後の運営については地域交通活性化協議会の中で再編作業を進めている。

馬場 亨守
議員
(無所属)

問 市職員退職後の再就職について

答 再任用制度の中でやっている

問 市補助金受給団体への再就職人数は。また、そのうちシルバー人材センターは、近隣の二本松市が会員数449名で補助金745万円、郡山市が会員数2000名で補助金787万円である。本市は会員数200名だが補助金増額の理由は。

答 市の社会福祉協議会、商工会、シルバー人材センター、堆肥生産組合、給食センターへ各一名の計5名。補助金は令和二年度に550万円から800万円へ増額、管理事務に係る人件費相当分であり、市の1、さらに国からその2分の1が補助される。



▲時代に合わせて見直しが必要では

その他の質問

- ・ 恵向公園のあり方は子ども優先策を
- ・ 高齢者のために市民農園を作っては



▲新たな和船の調達は

問 8月19日の全員協議会で阿武隈川に係留していた和船5艘が流出し、行方不明になっている報告を受け、8月7日には捜索したものの発見できず、警察へ遺失物届、河川国道事務所へ顛末書を提出したとのこと。新たな和船の調達は。

答 8月23日に市所有のドローンを使用し上空捜査、近隣市町村以外に宮城県岩沼市まで情報提供をお願いした。9月11日まで見つからなかった場合、今議会最終日（9月16日）に和船5艘分の補正予算を追加議案として上程したい。

問 議案第79号で市消防団の定員を541人から488人へ53人削減する議案が上程されている。県内の充足率は、過去最低の84・9%との報道があった。入団しない原因、定員の見直しによる団員の負担軽減策は検討しているのか。

答 時代の変化で考え方が変わった、地域のつながりが希薄、家族の理解が得られないことが原因にある。4月現在で50名の団員が不足しており、団員数を見直すことで活動に影響はない。新たな負担が増えることがないよう見直しをする。

その他の質問

- ・不登校の現状、SNS使用時の対策は十分か
- ・参議院議員選挙、投票率向上の対策は



問 8月3日豪雨災害について

答 現在まで情報がなく発見に至らず

菅野 健治
議員
(無所属)

問 本宮市消防団について
答 新入団員確保に苦慮している



問 岩根矢沢地区の土砂災害対策は

答 治山ダム上流の地形上設置難しい

利信 根本
議員
(新風会)

問 岩根矢沢地区の土砂災害は、ここ数年で3度目。過去には、甚大な被害を経験しているが、大玉村では治水ダムの建設に着手し、2、3個目の建設が現在進行している。本市としてどういった土砂災害、安全対策を考えていくのか。

答 以前、災害発生時に県による現地調査を行い安全対策について協議した。今後、災害が起きないように根本的な解決のため砂防ダムや治山ダムの設置について協議をしたが上流の地形上設置が難しいとの回答だった。今後県と協議し災害対策をしていく。

問 通学路危険箇所改善状況は
答 通学路14箇所すべて完了

問 県の対策必要な箇所は1289箇所、進捗状況は、625箇所の約48%対策が終わっている。本市の通学危険箇所はまだ未完了が多いと見ているが、一斉調査の結果と改善の状況はどこまで進んでいるのか。また、完了の見通しはいつか。

答 合同点検の結果、通学路14箇所の中で18箇所の対処必要性が報告。内訳は、見守りの強化、通学路の変更など7件、工事等が必要11件、内容は外側線の施工、ポールの設置等であり、全て改善完了し県へ報告している。

その他の質問

- ・林道の維持管理は



▲土砂災害対策の充実を



▲高齢者等の表記を変えて全国にアピールしては



問 高齢者の呼び方について

答 介護保険法では65歳から高齢者

遠藤 初実
議員
(無所属)

問 高齢者という概念と、前期・後期高齢者の意味をはっきり知らない方も多い。医療制度の中で使用されている「高齢者」「前期・後期高齢者」の定義は。

答 介護保険法では65歳以上の方が介護の対象という事で、一般的に高齢者と呼ばれている。また、後期高齢者医療制度創設から65歳から74歳の方を前期高齢者、75歳以上の方を後期高齢者と制度上分けている。

問 高齢者と呼ばれることに抵抗を感じる方がいる。高齢を幸齢に、後期を孝期に変えて表記することで、市の個性とし全国にアピールしては。また市でも町内会等の呼称に用語を定着させるために何かする考えは。

答 市の老人クラブ連合会はまゆみクラブ、白沢地区の老人会は新生会(新しく生まれる会)という言葉を使っている。皆様が親しく集い、元気で笑顔で生活できるという事で、そのような会の名前をつけるのには何の規制もない。



問 早期の弱視予防をすべき

答 導入に向けて検討する

川名 順子
議員
(新風会)

問 子どもの目の機能は生まれてから発達し続け6歳までにほぼ完成する。3歳児検診において屈折異常や斜視が見逃された場合、治療が遅れ十分な視力を得られない。視力の発達時期に早期治療を開始するためには屈折検査を推奨している。

答 スポットビジョンスクリーナーを導入することで、弱視の発見率が上昇し、精度が上がると考えている。令和4年度に創設になった補助を有効に活用し、既に導入している自治体の状況を調査し、効果的な3歳児検診を実施していく。

問 市立幼稚園の給食化を

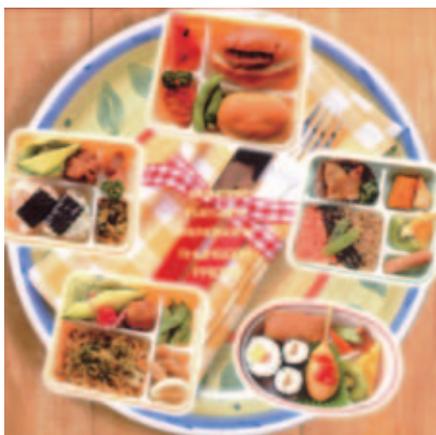
答 やる事を前提に調査していく

問 女性が社会で活躍する今、夫婦共働きが多い。栄養バランスの取れた見た目にも綺麗なお弁当を毎朝作るのは大変。同じ月齢の子でも保育所に通っている子は給食があるのに幼稚園にはないのは不公平。子育ての負担軽減のためにも給食化を。

答 幼稚園と保育所は施設の違いが違ふ。幼稚園には給食を作る施設がないが、幼稚園の給食を扱っている業者がある。どれだけの方がお弁当を必要としているのか調査し、保護者の希望に沿った形で来年度に向けて検討を重ねていく。

その他の質問

- 24時間使用可能なAEDの設置は
- 自治体職員の副業について



▲市立幼稚園に給食導入を



▲感染を抑えるための方策を

問 新型コロナウイルス感染症第7波の急拡大により全国で18万人を超え過去最多を更新した。本市の感染者は連日報道され、最高84人となったその要因と、住民意識だけの問題でなく感染拡大を抑える手当をするべきでないか。

答 8月の感染者は1224名。18日に最多の84名を確認。日常生活の中で感染が広がっている。ウイズコロナで行動規制はかけるべきではない。アフターコロナを見据え今の生活体験が大切になる。できるだけ感染しない方法を取っていく。

問 コロナ禍で仕事が増える中で、親から育ち盛りの子にあまり食べないでと言えないという声があると聞いた。トイレに設置している学校があると聞くが本市の現状と設置の考えを伺う。

答 えほか一か所に常設して無償提供している。小中学校では設置していないが保健室に用意している。現在は手渡しでやっているが今後設置の場所や方法、学校や児童・生徒の意見なども聞きながらまずはモデル的に実施してみたい。

その他の質問

・災害避難所対策について分館の体制は



問 コロナ対策について

答 出来る限りの感染予防対策協力を

渡辺 忠夫
議員
(日本共産党)

問 学力が伸び悩む子どもたちが多く、学力の底上げを図ることが求められており、子どもの目線に立ち、理解度に応じた授業を行うことが大切である。教師は、積極的に指導法を研究し、授業の質を高めていくことが重要であるが市の考えは。

答 子どもたちの能力・質を伸ばすためには、課題が明確になっているのか調べる活動・追及活動、話し合いの活動などに着目し、授業を見て、指導・助言を行っている。学力の向上には、教師の授業力向上が最大限に必須である。



問 授業の質を高めることが重要では

答 教師の授業力向上が必須である

石橋今朝夫
議員
(みらい創和会)

問 犯罪被害者支援条例制定の考えは

答 条例制定に向けて検討を進めていく

問 県内では、犯罪被害者支援の条例を制定し、見舞金制度を設けたのは、白河・三春・西郷・広野の4自治体ある。県支援センター昨年の相談、支援件数612件で大きく増えている。市として条例の意義を理解し条例制定の考えはあるのか。

答 犯罪被害者の条例制定することは、被害を受けた方々の被害の回復、軽減、生活再建を図ること、安全で安心な暮らしをサポートするうえで重要と捉えている。見舞金制度と併せて内容を十分精査し、条例制定に向けて検討を進めていく。

その他の質問

- ・スクール・サポート・スタッフ配置の状況は
- ・子どもの視力の悪化の原因は



▲授業の質向上を

インターネット中継をご覧になった ご感想をお聞かせください！

本宮市議会ホームページへアクセス
する。
[https://www.city.motomiya.lg.jp/
site/gikai/](https://www.city.motomiya.lg.jp/site/gikai/)



サイト内「市議会の紹介」の中にある
「市議会へのご意見、議会中継のご感想」
をクリック



議会の中継のご感想をご自由にお書き
ください！

※頂いたご感想は議会だよりに掲載さ
せていただく場合がありますのでご
了承ください。

※議会の中継は本宮市議会ホームペー
ジの「議会中継」からご覧になれます。

議会中継サイトでは現在開催中の議
会もしくは過去の議会の録画をご覧
になれます。

議会の録画の公開は2週間程度時間
がかかりますのでご注意ください。

9月定例会の閲覧者数は47人で1件
のご意見がありました。



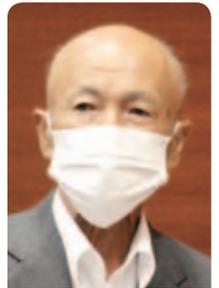
▲農家の支援充実を

問 国において米の消費
減に伴う米価の低下で米
の作付転換を進めている
が本市独自の考えと農家
への支援策は。また、こ
れまで実施された事業の
評価は。

答 本市の水稲の作付は
主食米が56ヘクタール減
少し、飼料米作付は1
51ヘクタールとなつて
いる。今後は農業者の所
得が上がる農業を考えて
いかなければならない。
人農地プランを拡大し、
JAや関係機関と連携し
地域の農業を守ってい
きたい。

問 新型コロナの影響に
よる生活困窮者が多く
なっている現状への支援
策は。食料等に不足感を
もっている世帯への支援
の現状は。

答 生活に困っている方
個人によって捉え方も様々
である。子ども食堂や相
談に來れない方の中で困
窮者を特定するのは難し
い。現状、市の生活サ
ポートセンター等で経済
的な課題に対する包括的
な相談支援は家庭訪問等
様々な活動で行っている。



問 農業の振興策について

答 各助成金を活用し支援していく

渡辺 善元
議員
(無所属)

問 生活困窮者に対する支援について

答 市の生活サポートセンターで支援している

その他の質問

・来年行われる市長選挙について四期目出馬の考えは

本宮第一中学校2年生が議場体験しました！



本宮第一中学校の2年生約110名が、8月24日総合的な学習で、本会議場にて議員などの席に座り市役所の仕事やまちづくりについて、議会の役割などを学びました。

当日は議長の進行で行われ、議長から議会の概要の説明があり、その後、政策推進係長がゼロカーボンシティへの取り組みについてなどを説明し、最後に議会議務局長が議会の役割について説明しました。

生徒からは、「ゼロカーボンシティについて説明以外で取組んでいることは」「観光地の観測地点を増やす予定はあるのか」「コロナ対策はどんなことをしているのか」などたくさん質問があり、市政について理解を深めました。



声



9月定例会を傍聴された方は16人でした。今回はその中から山崎朗さん（和田）に傍聴の感想をお聞きしました。

議会傍聴感想

今回の議会の一般質問に対しての感想

質疑の内容が質疑に取り上げるべきことなのかなと思った。もう少し実のある内容だと良かったかなと思う。

また、声があまりにも低いため、何を話しているのか全然わからなかった。何を相手に伝えたいのか、何を聞いてもらいたいのかがよくわからなかった。

声の低さはその人の信用にも結びつく事なのでもっと大きな声で相手に伝わるような話し方をすべきだと思う。このことによって仕事が大きく左右される場合もあるので。

山崎 朗



次回12月議会定例会は
12月1日に開会予定です。
請願・陳情の締め切りは
11月18日(16時まで)です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。
問い合わせ TEL 24-5435

あ と が き

暑かった夏も過ぎ、夏の秋となつてまいりました。

9月議会では令和3年度に市役所が行った各種事業について決算審査があり、様々な質疑が行われました。

補正予算では、プレミアム商品券第2弾の予算が計上されております。多くの皆様の利用をお待ちしております。

また、追加議案で和船購入の件がありました。水防訓練を行うとのことです。

秋も深まってまいります。皆様どうぞご愛ください。
(磯松)

発行責任者

議長 三瓶 裕司

副議長 斎藤 雅彦

委員 磯松 俊彦

委員 石橋 今朝夫

委員 根本 利信

委員 菊田 広嗣

委員 三瓶 幹夫

委員 国分 勝広

委員 渡辺 善元